

市民映画劇場9月例会

「ナミイと唄えば」

ひとたびナミイが唄い出せば、誰もがその世界に引き込まれる。三線片手に唄って遊んで人を喜ばせながら「ヒヤクハタチ」めざして生きる。85歳の八重山おばあの歌と旅の物語。島唄、童謡、軍歌、歌謡曲と歌づくしの構成で、映画全体がナミイおばあのお座敷の世界に。

22日(土)15時から本橋成一監督のトークショーを開催(入場料金のみで参加可)。

9/21(金)11:00/13:30/16:00/19:00

9/22(土)11:00/13:30/16:30/18:30

一般前売1,300円

(当日 一般1,500円/大学生以下・身障者・シニア1,100円)

会場 神戸市産業振興センター3Fハーバーホール

(JR「神戸」、地下鉄海岸線「ハーバーランド」下車徒歩約7分)

■神戸映画サークル協議会

☎078-371-8550

<http://www.kobe-eisa.com/>



神戸市立小磯記念美術館 開館15周年記念特別展

「藤島武二と小磯良平展
—洋画アカデミズムを担った師弟—」

藤島武二は日本洋画界の黎明期に活躍した画家で、東京美術学校(現東京藝術大学)で後進たちの指導にも努め、次代を担う画家たちが彼のもとから羽ばたいた。小磯良平もその一人で、藤島とともに洋画アカデミズムの屋台骨を支えた。

師弟の絆で結ばれた二人の巨匠が近代画壇に残した大きな足跡を13点の絵画でたどる、開館15周年記念にふさわしい展覧会。



藤島武二「女と宝船」
1920年頃 油彩

9/15(土)~11/18(日)

神戸市立小磯記念美術館(六甲ライナー「アイランド北口」下車すぐ)

10:00~17:00 月曜休館(祝日の場合翌日) ※金は~18:00

※入館は閉館30分前まで

当日:一般800円 高大生600円 小中生400円

■神戸市立小磯記念美術館

☎078-857-5880

http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso_museum/

2007朝日・神鉄文化セミナー

「神戸港を支えた人々」

第4回 勝海舟と坂本龍馬(歴史講座)

今年、神戸港が開港して140

年を迎えたのを記念し、神戸

港を支えた人物を語る文化セ

ミナー。第4回目は「勝海舟と

坂本龍馬」をテーマにした歴史

講座。江戸幕府の軍艦奉

行であった勝海舟は、海防の

ための教育施設として「海軍

操練所」を、また、坂本龍馬は諸藩の志士のための「海軍塾」を、兵

庫津の東に開設した。講師は炭木一成先生。

10/14(日)10:00~11:30

谷上SHビル7階(神戸電鉄・北神急行「谷上」駅下車)

入場無料 参加自由

■神鉄観光事業部 ☎078-521-0321



坂本龍馬



勝海舟

神戸山手学園 平成19年度講演会

「映画のまちは、おしゃれなまち
～映像がおしえてくれる神戸の魅力～」

岡部まり



田中まこ

映画発祥の地・神戸がテレビドラマや

映画の舞台、ロケ地として使われるの

は今や珍しくなくなってきた。その数、

毎年100本以上。なぜこれほど多くの

ロケが神戸で行われるのか。神戸を映

像ロケ地にと誘致、撮影支援を行なう

神戸フィルムオフィス代表、田中まこ氏と、タレントで映画評論家の岡

部まり氏が講演を行なう。

9/30(日)13:00~15:00

神戸山手大学・神戸山手短期大学体育館

先着800名を無料招待

※往復はがき、またはホームページから事前申し込み・9/14(金)必着

■神戸山手大学・神戸山手短期大学 生涯学習センター

☎078-351-7170

<http://www.kobe-yamate.ac.jp>

ジャズライブ&レストラン SONE

スウィング系ジャズを中心としたステージが
毎晩繰り広げられる、ジャズのまち神戸の老舗点。
9月の注目のライブは…

- 9/3月 ユン・ファソン クワルテット／
ユン・ファソン (Vo,Tp) 堀智彦 (P)
井手厚 (B) 木村優一郎 (D)
- 16日 ジャネット+祖田修トリオ／
ジャネット (Vo) 祖田修 (P)
鷺見和広 (B) 佐藤英宜 (D)
- 18火 キンディー浅田 (Vo)
西本貴至 (P) 中島教秀 (B)
石川潤二 (D)
- 29土 辛島すみ子 (Vo) 祖田修 (P)
井手厚 (B) 塩入基弘 (D)
- 30日 北莊桂子+高岡正人トリオ／
北莊桂子 (Vo) 高岡正人 (P)
魚谷のぶまさ (B) 御薬袋一男 (D)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。
ホームページでスケジュールをチェックしてください。

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE

北野坂 ☎078-221-2055
http://kobe-sona.com
★ステージ18:50～23:00 計4回
★ミュージックチャージ900円

クラシックライブハウス ピアジュリアン

神戸で唯一、クラシックライブ専門のお店。
9月の注目のライブは…

- 9/7金 尾崎比佐子(ソプラノ)
鎌田史子(ピアノ)
- 18火 金子鈴太郎(チェロ)
井上麻紀(P)
- 22土・23日 ヘーデンボルグ直樹・
遠藤真理チェロデュオ
- 26水 第69回藤溪シリーズ
藤原道代(ソプラノ)
- 27木 佐久間総一・
長原幸太(ヴァイオリン)
藤井快哉・鈴木華重子(ピアノ)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。
ホームページでスケジュールをチェックしてください。

■クラシックライブハウス PIA Julien
三宮駅北側近藤ビル9階 (1階マクドナルド)
☎078-391-8081 月曜定休
http://pia-julien.com
★ステージ19:30/21:00(計2回)

ジャズ喫茶 カフェ萬屋宗兵衛

元町商店街にあるジャズ喫茶
9月の注目のライブは…

- 9/6 木 Japan tour '07 From New York
JAZZ Live!
william ash (g) Jared Gold (org)
小林陽一 (ds) 要予約
- 9日 Soul Area4 BIGBAND／
斉藤岳志・栗原麻衣 (as)
住本絵吏・光山浩平 (ts)
菅野久美子 (bs) ほか
- 22土 「アユムツおさかなコンビ」
木原鮎子 (vo) 川本睦子 (vo)
大野綾子 (pf) 坂崎拓也 (b)
吉川元 (ds)
- 23日 ☆La Morocha☆ Milonga de Kobe
アルゼンチンタンゴダンスパーティー
- 29土 音・人・旅【おとなたび】
荻野やすよし (g) 栗田洋輔 (sax)
山田友和 (tp) 竹中裕深 (cello)
新井洋平 (b) 樋下善弘 (ds)

■Cafe 萬屋宗兵衛
元町商店街1丁目
ウェディングサロン「イノウエ」地下
☎078-332-1963 http://www.soubel.net/

ライブスケジュールは急遽変更になる場合があります。
事前にお店までお問い合わせください。

ライブハウス メイデンヴォエッジ

阪急六甲のライブハウス。ジャズセッションデー、
アカペラオンリーなどもあり。
9月の注目のライブは…

- 9/7金 Jazz Funk セッションワークショップ
講師:笹井BJ克彦 (b)
吉川弾 (Dr)
奥本めぐみ (Vo,pf,Tb)
- 18木 ディブ・ウェッセル (Dr) クリニックat
マイクスターングルーブクリニック
- 27木 駅前寄席!明伝座 Vol.6
笑福亭智之介 ほか
- 28金 Good Acoustic
シモムランウシ 村上絢佳
CROSSPLAY!ほか
- 10/16木 精進ツアー2007
榎原大 (pf) 小森啓資 (dr)
楠本雅祥 (bass)
ぜひチケット予約を!

記載された以外のライブはホームページ等で
チェックしてください。

■Livehouse Maiden voyage

阪急六甲駅北側すぐ
☎078-805-0899
http://www.koyo.net/maiden-voyage/
★演奏のジャンル問わず、出演者募集中

<お詫びと訂正>

2007年7月号59ページ
「新長田の newName 神戸映画資料館 カフェ
ダイニングジューナ」記事の3行目
「時は1826年」は誤りで、正しくは「時は
1896年」でした。

2007年8月号70ページ
イベントスケジュール「2007 イタリア・ボロー
ニャ 国際絵本原画展」記事の開館時間
「10:00～18:00 月曜休館」は誤りで、正し
くは「10:00～17:00 水曜休館」でした。

※関係者各位にご迷惑をおかけいたしました。
訂正して心よりお詫び申し上げます。

神戸に新キャラ!?

「コウベアー」をよろしく

元町出身の「コウベアー」は、神戸探索が趣味。神戸を案内する、神戸の新しいキャラクターとして誕生。すでに、9月1日にスタートする「神戸ファクションウィーク」公式ガイドブックでも神戸を案内している。神戸らしい、ちよととおしゃれでキュートなキャラクターをと生み出されたもので、ゆるキャラ風の雰囲気ですでに人気が出始めているとか。今後、グッズ化の企画も進んでいるとのこと、チェックしてみよう。

ちなみにコウベアー君、シアトル出身のお父さん、六甲山生まれのお母さんから生まれたハーフで、栄町に住んでいるという。



ゆるさかわいいコウベアー君

北はりま
味めぐり展西脇、三木、小野、加西、
加東、多可の5市1町の北はりまエリアの特産品を、
神戸大学の学生バイヤーがセレクトし販売する。巻
きずしや天然酵母パンな
ど人気のラインナップで売
り切れ御免。お急ぎを。また、毎月第2・4日曜
日、定期的に北はりま田
園空間博物館が水道筋で
旬の野菜を直販する。こ
ちらも注目。

とき 9月9日(日)10時〜

売り切れ次第終了

水道筋商店街

みずほ銀行・

みなと銀行前付近

(阪急王子公園下車、

徒歩約5分)

問合せ まちむら交流

café「のら」

☎078・801・8722

三田青空美術館

アートフィールド2007

毎年恒例の、三田の美

術イベント。今年は「アソボ

アート!!!」というコンセプト

で、駅前通り・銀座商店

街をアートで彩る。三田に

は注目のアーティストが多

いが、一堂に会し街で展開

するまたとない機会。

とき 9月15日(土)〜22日(土)

三田市

駅前通り商店街・

銀座商店街

(JR三田駅南出口、

神鉄三田駅下車すぐ)

問合せ 三田市商工会

☎079・563・4455

ハッピーフールー、III
絵本原画展

ほんわかごみ系の宮城さんのイラスト

神戸在住のイラストレー

ター、宮城彬瑚さんが描く、

心温まるイラスト展。宮城

さんは絵本や国土交通省

兵庫国道事務所広報誌「よ

んさん」の表紙を手がける

など、いま注目のアーティ

スト。鮮やかな色彩と油彩

ならではの絶妙なタッチか

ら生まれる、ファンタジッ

クな物語の世界へ。

とき 9月1日(土)〜30(日)

10時〜20時(無休)

ジユンク堂書店三宮店

4Fギャラリー

神戸市中央区三宮町

1-6-18

三宮センター街

(各線三宮駅下車

徒歩約5分)

☎078・392・1001

■宮城彬瑚さんホームページ

「のかりにおこ」

<http://akgei.tv/>兵衛向陽閣
文化講座 「花と心」

講師・森部隆さん

(池坊華道家)

有馬温泉の兵衛甲
陽閣で行なわれてい
る文化講座。第6回文化講座は、
華道家・森部隆さん
を講師に招く。池坊
の講師として、国内は
もちろん、海外にも派
遣講師としていけば
な指導にあたりとい
る森部さん。500
年以上にわたり受け
継がれてきた、池坊の
伝統と魅力、いけばな
への熱き情熱、それを
支えてくれた母の思
い出などもまじえなが
らの内容となっている。

とき 9月12日(水)

10時30分〜

12時30分

1階ロビーにて

10時より受付

会費 1000円

(コピー付)

定員 100名(予約制)

■兵衛向陽閣文化サロン

☎078・904・0501

(10時〜17時30分)

佐藤紘一写真展

「南洋の楽園・バヌアツ」

「バヌアツ」という国をご存知だろうか？バングラデシュやインドネシアの近く。英国のシンクタンクによって生活満足度などから算出された「地球幸福度指数（ハッピープラネット指数）」で178カ国中1位に選ばれた、美しい自然と、純粋な人々が住むという国だ。

佐藤紘一さんは、JICAのシニア海外ボランティアとしてバヌアツに出かけ、この国の魅力にとりつかれてしまった。佐藤さんが3週間の滞在で撮影したバヌアツの自然と人々の雄大かつ美しい写真展。とき 9月6日(木)～25日(火) 10時～18時(水曜休) 場所 あいとすべーす 写楽 (北区)

■あいとすべーす写楽
078-5833-5786



写真:佐藤紘一

伝説の名車たちが集結
BP大阪ノスタルジックカーショー2007

今年も「BPノスタルジックカーショー」の開催が決定！このイベントは、国内最大級のノスタルジックカー＆パーツ、アクセサリ、グッズなどの展示&即売会。トヨタ2000GT、フェレディーZ(S30)、ビンテージフェラーリなど国産、輸入のノスタルジックカーが大集合。出展される車両は、実際にナンバーを取得して走行することが可能な、伝説の名車たちで、当日会場で商談も行なわれる。今回のスペシャルイベントは、エプロミニチュアカーの展示、会場限定モデルの予約販売も予定されている「EBRROSスペシャルブリス」1978年DOME Zero他がやって来る「童夢展」。自動車ファンはお見逃しなく！

とき 10月7日(日) 10時～17時

場所 インテックス大阪3号館
(大阪市住之江区南港北ノ
ニートラム)中頭(駅)
料金 一般2000円
前売1700円

■実行委員会
(サニールKサックスで取扱中)
東京都港区新橋5-25-1
0120-7500-043



70年代を中心にしたノスタルジックカーが大集合

デユオぎやらりー 9月の催し

9月6日(木)～11日(火)
「花の会ひよ」写真展
主催:花の会ひよ
写真クラブ

9月13日(木)～18日(火)
金澤和孝の世界
花や風景の写真展
9月20日(木)～25日(火)
第35回関西版画連盟展
主催:関西版画連盟

9月27日(木)～10月2日(火)
NHK神戸文化センター
ポスターアート講座
透明水彩絵具で描く植物の細
密画を展示

デユオぎやらりーII 9月の催し

9月6日(木)～11日(火)
神戸六甲優花
「押し花ワールド」ようこそ」

主催:神戸六甲 優花

9月13日(木)～18日(火)
第7回「介護老人保健施設の
活動展」
主催:神戸介護老人保健施設
協会

個性的な
インポートネクタイ
がそろうサイト

ファッションの街神戸より、インポートブランドネクタイを専門に取り扱うサイト「ユーロセレクト」。このサイトでは流行の新作をいち早くお届け。あらゆるシーンでもっとも似合う、自分スタイルのネクタイが見つかるはず。また、おなじみのキャラクターネクタイも数多く取り揃え、話題を呼んでいる。クールに、シックに、エレガントに、そして可愛く装ってみてはいかが・・・。

ユーロセレクト

Yahooショッピング
http://store.yahoo.co.jp/euro-select/index.html
■有会社JUTC

神戸市中央区下山手通
32-14ビル3F
078-33351188



今年も元気に海の盆踊り



「こうべ夏の盆踊り2007」が、8月18日メリケンパーク広場で開催。日本の夏の盆踊り、神戸の盆踊りは国際色豊か。

サンバフェスタKOBE 2007

7月28日、KOBECOサンバチームが「サンバフェスタKOBE2007」に参加。子供たちのかわいい踊りで観客の注目を浴びた。ハーバーランドスペースシアターにて。



トアロード まちづくり協議会

トアロードの商店主や関係者が参加しているトアロードまちづくり協議会の総会が、7月25日中華会館で行なわれた。



上月倫子バレエスクールリサイタル

7月22日、神戸文化ホールで行なわれた上月バレエスクールのリサイタルは、「青い鳥」「ドンキホーテ」のステージで、団員たちが日頃の練習の成果を披露。



アロハ! ハワイフェア



神戸ベイシェラトンホテル&タワーズの期間限定フェアでは、ハワイのローカル色豊かな料理とビーフステーキ、トロピカルドリンクなどが勢揃い。8月1日のオープニングにはかわいいフラダンスのショーもあり、ハワイアンムードに。

うまいもん 探偵団の総会

神戸のグルメたちが集う、うまいもん探偵団「食総合研究所」の第14回総会が、7月31日メリケンパークオリエンタルホテルで開催。もちろんおいしいお料理を食べながら、食文化についての勉強も。



ピアしくすで 講演会シリーズ

神戸港湾資料館「ピアしくす」で行なわれている定期講座「まちづくり生涯学習講座」第3回は、7月28日に来田に成さん（成さん）を講師に「海辺のアクティビティ」と題し、釣りや海についてのお話し。



子羊を 食べる会

全国に会員をもつ「A ssociazione di amatori di AGNELLO 子羊を食べる会」の定例食事が7月25日新神戸サンホテルで



三者三様 「くどくどアナログ」

昆虫を撮った酒本和範さん、風景の藤井英雄さん、人物の木村ヨーシーさん、写真家3人による写真展「くどくどアナログ」が、8月1日～19日、垂水のスタジオ・チーズで開催。

神戸ファッション専門学校「KFI MOVE」



神戸ファッション専門学校の学生たちがオリジナル作品を発表する「KFI MOVE」が7月27、28日、兵庫県立美術館ギャラリーで開催された。ファッションショーのほか、ディスプレイコンテスト入賞作品、シューズ作品なども並び、どれも高い技術と感性。



神戸市立博物館 「西洋の青」展

合成顔料のブルシアンブルーをめぐり、「青」の表現にテーマをあてた爽やかな特別展が7月21日から9月2日まで開催された。



大和松蔭「夏の座敷舞」

8月5日、グリーンビルホテル明石で、大和松蔭さんと門下生の皆さんによる舞台「夏の座敷舞」が行なわれた。

AED(自動体外式除細動器)を知っていますか?



浅野孝治先生
浅野医院長

不整脈、心筋梗塞やそのほかの心臓病で、突然、心臓から血液が送られなくなり呼吸も止まり、意識もなくなり死亡する人が、年間5万人から6万人にもなります。

1986年にバレーボール中に死亡したハイマン選手や2002年にスカッシュの練習中にやはり心臓発作で死亡した高円宮殿下もやはりこの心停止によるものでした。年間5万人以上の人がこのために命を亡くしています。

この突然心臓のはたらかなくなる状態は、本当に心臓が動かなくなってしまう心静止と心臓は動いても血液の送り出せない心室細動などがあります。

心臓が止まると全身に血液が流れなくなります。特に、脳は3分から4分酸素がとでえると脳死状態になります。そのため5分以内に、血液を心臓から脳に送ってやる必要があります。救急車を待っていたら手遅れで、倒れている人を見たらすぐに、呼吸をさせ、心臓をマッサージし、AEDで除細動をして、救急車をよぶことが必要になります。

普段、心臓は筋肉を規則正しく縮ませ、ポンプのように中の血液を全身に送りだしています。心室細動というのは、この筋肉の動きがばらばらになり、小刻みに震えるけいれん状態になり、うまく血液が送り出せない状態を言います。これにAEDで、からだの外から電気を通すと、多くの場合、筋肉のばらばらの動きがもとの脈にもどり、血液を送り出すポンプ機能が回復します。

このAEDは2004年の7月から、一般の人が使うことも法律で認められました。AEDの器械が進歩して、心電図を器械が自動的に読み取り、音声で、ショックは必要です、あるいは不要です、など指示をします。必要がないと電気がつながらない仕組みになっています。一度練習すれば、簡単に使えるようになります。また、神戸市はまちかど救急ステーションの標章を作って、AEDのある場所にはこの標章がはられて一般の人にもよくわかるようになっていきます。神戸市ではまちかど救急ステーションのAED使用例がこの2年間に17件あり、そのうち3名のいのちが助かっています。助かったのは、いずれも体育館や学校、スポーツ施設内での心停止に、AEDを使ったものです。今後は、置く場所も増え、使える人も増えてきましたのでさらに救命率もよくなってくるものと思います。

休日の急病は…

神戸市医師会急病診療所 神戸市医師会館1F
0783441230
小児科休日急病診療所 西区学園西町4-2
0787954915

神戸
an essay
再発見

尾崎放哉の 須磨寺の句碑をめぐる

加藤 隆久（神戸芸術文化会議長
生田神社宮司）



須磨寺の大師堂前に立つ放哉の句碑

「秋来ぬと眼にはさやかに見えねども風のおとにぞ驚かれぬる」という古歌があるが、九月の声を聞いてもまだまだ残暑の酷しい日が続いている。しかし、月の美しい季節を迎える。月で思い出す私の好きな句碑が、神戸の須磨寺の大師堂前に建立されている。

それは、大正十三年から十四年にかけて、須磨寺大師堂の堂守をしていた自由律派の俳人、尾崎放哉（1885～1926）の「こんなよい月をひとりで見えて寝る」である。放哉は明治十八年鳥取で生まれ、鳥取一中から第一高等学校に入學し一高俳句会に参加、一年先輩の荻原井泉水と知り合い私淑する。「ホトトギス」にも入選し、東大法学部政治学科を卒業後、東洋生命（現・朝日生命）に入社するが退職。酒におぼれ妻とも別居し、西田天香が主宰していた修養団・一燈園に入るが体が続かず、知恩院の寺男となり、ここでも酔余によって寺を追われ、大正十三年神戸の須磨寺に入り、大師堂の堂守となる。しかし、須磨寺での内紛のため同寺を去り、各所を転々として、大正十五年讃岐小豆島に四十二歳の若さで亡くなったエリート奇人として名高き、孤絶の自由律派の俳人である。

須磨寺に建立されている放哉の句碑は、昭和三十四年四月七日、神戸の文化人、加藤盛男氏等によって、石工小西氏で建立されたもので、句碑は荻原井泉水の書による「こんなよい月をひとりで見えて寝る 放哉」が彫られてある。建碑式の当日は放哉の無二の親友、内島北朗も臨席していた。

さて、本稿で紹介したいのは、私が架蔵する尾崎放哉の句稿の書軸をめぐってである。この句稿は放哉の直筆で

汽車の窓からみんな顔出して梅林

池の水が厚くて梅は匂ひ

昼空冴えたる音楽学校

橋の処の梅が早くて

あつめしがたけた野茶屋

どつさり春の終わりの雪ふり

油紙一枚背中に張って春雨

海の宿屋に来てめづらしい大雪

お寺参りの春の雪散らす

大雪の春の河舟

放哉

汽車の窓からみんな顔出して梅林
池の水が厚くて梅は匂ひ
昼空冴えたる音楽学校
橋の処の梅が早くて
あつめしがたけた野茶屋
どつさり春の終わりの雪ふり
油紙一枚背中に張って春雨
海の宿屋に来てめづらしい大雪
お寺参りの春の雪散らす
大雪の春の河舟

放哉の句に井泉水が朱を入れている(筆者所蔵)

の十句が記されており、それぞれに朱で荻原井泉水が評点をつけている。この句稿の表装は放哉が小豆島で着ていた緋の着物の端切れが利用されている。この書軸はいわく因縁のあるもので、村尾草樹著「放哉」の資料編で、昭和三十一年二月二十三日に行われた座談会「東洋生命時代の尾崎放哉」の中で、荻原井泉水が次のように語っている。放哉が小豆島で酔っぱらって、どぶの中に落ちて、着物を泥だらけにしてしまった。それを小包にして、飯尾星城子せいじょうしのところへ送った。星城子は放哉のところから何か来たかと思つて封を切つてみたら臭くつてしょうがない(笑)。どぶへ落ちたままのを自分で洗うのがめんどく

さいから、小包にして星城子のところへ洗つてくれといって送つてやったわけです。

とある（この間の事情については、昭和十四年十二月二十四日・春秋社発行の荻原井泉水輯「放哉書簡集」所収による南郷庵より放哉から星城子にあてた手紙に詳しい）。それが私の所蔵する句稿の書軸の表装に使われている久留米緋の着物である。さらに井泉水はさきの座談会の中で

放哉が亡くなつてからその久留米緋で放哉の書いたものを表装して掛物にしております。それを私は箱根で見たことがあります。そう言う因縁つきのものですが、なかなかおもしろいものですよ。

と述べているが、実はその因縁つきの掛物を今、私が所蔵しているのである。しかも、この軸先は「北朗」と記された陶器で作られ、まさに放哉の親友、俳人で陶工の内島北朗が作ったものである。



また、書軸の入った桐の箱の箱書きには「放哉居士詠草」と記され、放哉の師匠、荻原井泉水の直筆によるものである。

放哉は、大正十五年四月七日小豆島土庄町南郷庵で死去したが、小豆島の西光寺近くの墓地に埋葬され、戒名は「大空放哉居士」という。

先年、私はロータリークラブが毎年開催している小豆島余島の青少年指導者育成セミナーに出席した際、放哉記念館や尾崎放哉の眠っている南郷庵跡近くの墓地を訪ね、ほんの小さな「大空放哉居士」の墓にお詣りしてきたのである。

※飯尾星城子 荻原井泉水の主宰する「層雲」の同人で、剣道の師範。放哉と書簡を頻繁にやりとりをしていた。福岡・八幡在住で、種田山頭火とも交流があった。



箱書きには井泉水の、軸先には北朗の名が



■加藤隆久（かとう たかひさ）

1934年生まれ。

生田神社宮司。神戸芸術文化会
議長。神戸女子大学名誉教授。
文学博士。

震災で倒壊した生田神社を「耐
震神社」として再建。神道史や
地域史の研究、伝統芸能やミ
ュジカルのプロデュースと幅広く
活躍。神戸市文化賞、兵庫県文
化賞受賞。

造型のマジック

中右瑛

字型の遊び・略画の文字絵

「狂筆・蝠寿の姿見」歌川広重筆

『東海道五十三次』で知られた浮世絵師・歌川広重のことを、「安藤広重」と呼ぶのは間違いである。「安藤広重」という絵師はいない。

広重は武士の出身。本姓は安藤という。だがこの本姓とペンネームを混合して呼ぶのは正しくない。

例えば、座頭市で有名な勝新太郎という俳優がいたが、彼の本姓は「奥村」という。彼のことを、本姓と芸名をチャンポンにして「奥村新太郎」と呼んだとしたら、誰もが怪訝に思うだろう。そんな俳優はいないからだ。広重も同じことである。ペンネーム「歌川広重」が正しい。

センセイの少年時代は、誠に不幸だった。13歳の時、父母に死に別れ、その後は辛苦を味わった。センセイの絵は生まじめで、どこか寂しく、風景画にはセンチメンタルの叙情が漂うのもセンセイ苦勞人のあらわれだ。

努力の末、風景画の大御所として君臨したのだが、なかには、童心にかえってひょうきんな絵を描いたものもある。

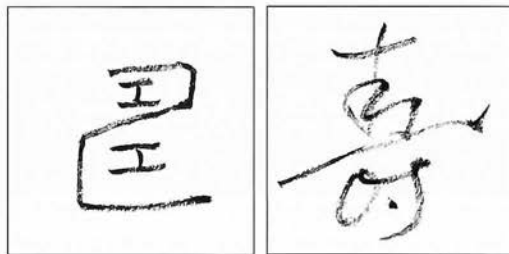
広重センセイの遊び心は旺盛だ。「文字遊び」、「影絵遊び」はいうに及ばず、洒落つ気たっぷり、戯画、狂筆の類。これらは漫画の元祖ともいう『北

斎漫画』を大いに意識している。時には時局を茶化しパロディ精神を大いに發揮して、楽しいアイディアを狙った。それが一連の戯画シリーズである。

「狂筆・蝠寿の姿見」はセンセイの珍趣向の「文字絵」遊びである。

有名な歌舞伎狂言「伽羅先代萩」の名シーンを「文字絵」で遊んだ。伊達藩お家騒動の張本人・仁木弾正は大鼠（この図では大蝠蝠）に化け連判状を盗み取ろうとし、それを阻止する荒獅子男之助。弾正と男之助との対決シーン。

もう一図は歌舞伎狂言「御所五郎蔵」。侠客御所五郎蔵と星影土右衛門とが吉原中ノ町での男伊達鞘当のシーン。仲裁に入る止め女。二図とも図中の人物はすべて「寿」のくずし文字で型どられていく。楷書、草書、隸書



この2字はどこで使われているだろうか？左図で探してみよう

など様々な文字型を駆使し、小道具（提灯ほか）もくずし文字で構成されている。頭部（髪型）や大鼠は「蝙蝠（こうもり）」。中国では「蝙蝠」は長寿の象徴。「蝠」と「福」とは同意語で、幸福に通じる。

歌舞伎の名シーンを「文字遊び」で挑戦し、「狂筆」と銘打った「文字略画」でもある。サインは「広重戯墨」。サインの下の赤い落款は「ヒロ」の洒落判。

4〜6図のみが知られ、センセイ最晩年の珍作といえよう。



「御所五郎蔵」（上図）、「伽羅先代萩」（下図） 歌川広重 文字絵 狂筆蝠寿の姿見



■中右瑛（なかうゑい）
抽象画家。浮世絵・夢二ヲセイスト。
一九三四年生まれ、神戸市在住。
行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、
行動美術賞受賞。浮世絵内山賞、半どん現代
美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受
賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学
会常任理事。著書多数。

フェリーで巡る

瀬戸内海体験クルーズ

文・写真 上川庄一郎



潮の流れの速い早朝の来島海峡大橋

「フェリーで巡る瀬戸内海体験クルーズ」

神戸経済同友会が「みなとの再生」で「クルーズの魅力、瀬戸内海の魅力をもっとアピールし、神戸港を『瀬戸内海クルーズの母港』に、そして世界を代表する『交流のみなと』にしよう!」と提言したことは、先に、本誌四月号で紹介した。

しかし、これを実現するにはいくつものハードルがあることも確かで、先ず「せとうち・感動体験クルーズ」から始めよう、と云うものだった。

この企画に大きな関心を寄せ、色々とご支援くださっている片桐正彦近畿地方整備局副局長の発案で、「先ずは隗より始めよ!」と手短なフェリー体験クルーズをやってみようということになった。

植村武雄神戸経済同友会顧問もこれに同調され、去る六月五―六日に実行する運びとなり、私も喜んで参加させていただき一行十二名となった。

「フェリーを乗り継ぎ、呉港まで」

参加された方々は、それぞれお忙しいので、仕事の終わった五日の夜22時45分、ダイヤモンドフェリーに六甲アイランドのフェリーターミナルから乗船し、翌六日朝7時40分松山観光港着。ここから乗り継いで、呉港までは二時間足らずの短いクルーズである。

松山までの間では、明石海峡大橋、瀬戸大橋は深夜となったものの来島海峡大橋の景観は十分堪能することができた。松山からは、小振りのフェリーで釣り船の浮かぶ静かな海を眺め、芸予諸島の移りゆく島々の景色を満喫し、平清盛が切り開いたと云う音戸の瀬戸を抜けて程なく呉港に入港。これまで、何度か《ばしふいっくびいなす》や



平清盛が切り開いたという音戸の瀬戸

《につぼん丸》など大型客船を利用したことはあるが、瀬戸内海の真ん中を通過するだけの、時によつては、屋久島や奄美、沖縄への途中のコースとしてしか捉えていなかった。

今回は、フェリーを乗り継いで「クルーズ」のたのみのクルーズをしたが、幸いお天気にも恵まれ瀬戸内海の多島海のシークエンス景（移り行く景）を存分に楽しむことができたのは非常にいい体験であり成果も大きかった。

瀬戸内海クルーズは、そこに散りばめられた緑の宝石のような島々に立ち寄り、自然美と歴史ロマンに満ちた魅力溢れる内海や海の幸に触れることにより、その真価を発揮する。その意味で、今回は切り接ぎの短時間での忙しいクルーズではあったが、正しく「せとうち・感動体験クルーズ」に相応しい企画だったことは間違いない。

【戦艦大和のふるさと・呉】

呉と云えば、私たちには直ぐに戦艦大和のまちと云うイメージが頭をよぎる。その呉港に入港すると、直ぐ目の前が「大和ミュージアム」である。早速入館して学芸員の方から詳しい説明を受けた。単なる太平洋戦争の落し子と云ったものではない。まさしく、明治から戦前までの日本の辿った生々しい生き様そのものである。このことは、開館二年にして、三百万人もの入館者を数えたことが雄

弁に物語っている。これも、江田島と並び瀬戸内海を語るに忘れてはならない歴史の館である。

瀬戸内海は、古くからの歴史・文化の宝庫であり、これ以外にも数々の史跡や文化財が存在する。

【広島で、交流会】

この後、広島に出、中国地方整備局や中国運輸局の幹部の皆さんと食事を挟んで交流会が持たれた。もちろんこれも片桐副局長の取り計らいであることは云うまでもい。と云うのは、中国地方整備局が、「瀬戸内・海の路ネットワーク協議会」の事務局でもあり、神戸経済同友会の目指す「瀬戸内海クルーズ」実現のためには、何としても絶大な支援・協力を得なければならぬ行政機関であることを察知してのご配慮だった。

結論として、中国地方整備局でも、このプロジェクトには全面的に賛成だし、協力を惜しまないと約束していただいたことが、今回の体験クルーズのもう一つの成果だったと云ってよい。

この成果を、来年夏に予定している本番の「せとうち・感動体験クルーズ」につなげてゆき、ぜひ成功させたいものである。



■ かみかわ しょうじろう

1935年生まれ。神戸市に入り、消防局長を最後に定年退職。その後関西学院大学、大阪産業大学非常勤講師を経て、現在フリーライター。



堂々たる貴様の戦艦大和（縮尺1/10模型）



昭和32年田嶋俊作は

父とともに世界一周旅行に出かけた

ニューヨークではティファニーをはじめとする

宝石店などをまわり

アメリカ人たちの生活を身近で見えるにつれ

真珠商としての商売の自信も

強く持ち始めた田嶋であった

海からの贈り物・真珠とともに生きる

日本の真珠王

~King of Pearl~ Syunsaku Tasaki Story

田嶋俊作物語

〈第八話〉

漫画：佐藤晴美





田嶋はその後
一人でフランス、西ドイツ
イタリアをまわった

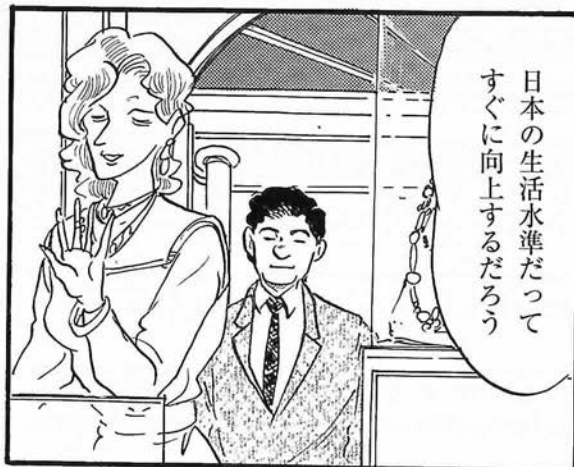
各国でまず宝石店をめぐり
そしてホテルやカフェで
ヨーロッパの人々の生活を
垣間見た

アメリカでも
そうだったが
毎日ステーキとか
ご馳走ばかり
食べているんじゃないんだ

彼らは
別世界の人間じゃなく
人間としての生活は
日本人と同じだ

真珠を買ってくれる
アメリカ人は
みな特別の金持ちだと思
っていたが：

——ここでも
宝石や真珠が
飛ぶように売れている
わけではない——







田崎は決意を胸に
帰国した





真珠の小売店を
出そうと決めた田崎は
まず店舗の場所を
さがしはじめた



足場を
固めることが
第一だ



田崎はちょうどその頃
建設中だった
神戸新聞会館に目をつけた



場所は新しく完成する
神戸新聞会館の1階だ

小さな敷地だが
初出店の場所
として
申し分ないだろ？

し：社長
お言葉ですが—
小売店など出して
はたして真珠など
売れるでしょうか？

大丈夫！

オレは世界を見て
日本も生活水準が上がれば
真珠や宝石が
売れる時代が来ると
確信した！！

いつかきっと
日本の女性にも
真珠やダイヤモンドの
指輪やネックレスを
身につける 때가来る—
いや、いつかではない
もう、すぐそこまで来ている
未来だ！！